

# 海上警報

記号	警報の種類	基準
[W]	海上風警報	風速28ノット以上
[GW]	海上強風警報	風速34ノット以上
[SW]	海上暴風警報	風速48ノット以上
[TW]	海上台風警報	台風によって風速64ノット以上
FOG[W]	海上濃霧警報	視程0.3海里以下

注: その状態になっているか、24時間以内にその状態になると予想されるときに発表される。

# 雲画像の種類

雲画像の種類	特徴
赤外画像	雲頂高度が高い雲⇒白
可視画像	厚い(=雲水量が多い)雲⇒白
水蒸気画像	対流圏中上層の水蒸気が多い領域⇒白

# 雲画像での見えかた

雲の種類	赤外画像	可視画像	形状
積乱雲	白	白	団塊状
巻雲、巻層雲	白	灰色	なめらか
層雲	暗	白	なめらか

※層雲は海岸線に沿った形になることが多い。

# ブロッキング

- ジェット気流の蛇行が大きくなり、高気圧や低気圧が切離した状態。
  - ブロッキング高気圧
  - 切離低気圧(カットオフロー、寒冷渦)
    - 同じ意味だが、題意に沿ったものを選ぶのが無難。
- 500hPa天気図で判断。
  - 地上天気図では見えにくい。
- 影響:
  - 気圧配置の変化: 遅くなる。
  - 異常気象。

# ブロッキング

- 寒冷渦の影響：
  - 突風、落雷、短時間強雨、降雹。

# 梅雨前線の特徴

- 相当温位の勾配が大きい。
- 湿舌: 高相当温位域が南西から伸びる。
- 下層ジェット: 前線の南側で南西風。
  - 850hPa風・相当温位解析図で判断。
- 湿潤中立成層。
  - 相当温位が鉛直方向にほぼ一定。
- メソ低気圧。
  - 前線上に、数100kmから1000km程度のスケールの低気圧。

# 気象庁天気種類表

番号	天気種類	説明
1	快晴	雲量が1以下の状態
2	晴	雲量が2以上8以下の状態
3	薄曇	雲量が9以上で、巻雲、巻積雲または巻層雲が見かけ上最も多い状態
4	曇	雲量が9以上で、高積雲、高層雲、乱層雲、層積雲、層雲、積雲または積乱雲が見かけ上最も多い状態
5	煙霧	煙霧、ちり煙霧、黄砂、煙もしくは降灰があって、そのために視程が1km未満になっている状態または視程が1km以上であって全天がおおわれている状態
6	砂じんあらし	砂じんあらしがあって、そのために視程が1km未満になっている状態

# 気象庁天気種類表

番号	天気種類	説明
7	地ふぶき	高い地ふぶきがあつて、そのため視程が1km未満になっている状態
8	霧	霧または氷霧があつて、そのため視程が1km未満になっている状態
9	霧雨	霧雨が降っている状態
10	雨	雨が降っている状態
11	みぞれ	みぞれが降っている状態
12	雪	雪、霧雪または細氷が降っている状態
13	あられ	雪あられ、氷あられまたは凍雨が降っている状態
14	ひょう	ひょうが降っている状態
15	雷	雷電または雷鳴がある状態

※同時に二種類以上の天気に該当する場合には、種類番号の大きいもの一つを選ぶものとする。

# 視程

VV	視程[km]
00	$< 0.1$
01 ~ 50	$VV \div 10$
56 ~ 80	$VV - 50$
81 ~ 88	$(VV - 80) \times 5 + 30$
89	$> 70$

# やませ吹走時の気象条件

- 東北地方の太平洋側の地上気象:
  - 雨、霧。
  - 低温、湿潤。
  - 視程不良。
  - 北東～東風。
- 日本海側では晴天、高温であることが多い。

# やませ吹走時の 気圧配置と高層気象

- オホーツク海高気圧。
- 地表付近のみで北東～東風。

# やませの農作物への影響

- 低温
- 日照不足